

2011年 2月4日 ミュニック、

インターナショナル カルティック スタディ アソシエーション (国際カルト学会)
P.O. ボックス (郵便私書箱) 2265
ボニタ スプリングス、フロリダ
34133 U.S.A.

主題：嶋野 T. 栄道と禪スタディソサイエティ法人

拝啓

上記の宗教団体、禪スタディ ソサイエティ法人 (ZSS) の長期に渡る陵辱、誤摩化しの実情を報告する為にこれを書いています。簡単に説明いたしますと、ニューヨーク州北部にあるZSSの僧堂住持、嶋野 T. 栄道氏は、何十人も女弟子に対する性的略奪 (彼の数ある悪行の内の一つ) をほぼ50年近く続け、告訴を受けて来ました。この事件はニューヨーク タイムス¹、Survivors' Network of those Abused by Priests - 僧侶によって犯された犠牲者の協会 (SNAP)²、が記事を掲載しており、一般にとって全く知名度の無い事ではありません。しかし今日でも、嶋野氏は自責の念が無く、一切の不行跡を否定し、ZSSは未だに犠牲者に対して率直に対処しようという意志がなく、敬慕する師を支持して、不動の姿勢をとり続けています。

この事件の特異性は、嶋野による悪弊、及び歴代の理事会員による共犯の記録は既に、入念に丹誠込めた記録として一般公開されていることです。ウェブサイト www.shimanoarchive.com を見ると明らかに、カルト的集団とその非凡な精神力を持った指導者の魅惑的な関係を一目する事が出来ます。そこで私は、貴方がご自身で全面的に証拠書類を考察していただくために、記録の一部をここに提示しました。

初めに、最も有力な文書は、当然ながら、嶋野の弟子に対する数々の性的攻撃の第一人者より提供されたものです。実にこれらの証拠書類は山のようにあり、最も忠実な弟子でさえ、次第に敬慕の思いを失って行きました。前述のニューヨーク タイムスの記事と、1982年のレポート、*禪と誘惑の芸術*³ はこの点で良い概要を示してくれます。

次に嶋野の門人によるカルト的拒否と脅迫の例を考察して頂くと、これによりいかにして嶋野が、厚かましくも、かくも長い間、何十年にも渡り、陵辱を続けることが可能であったか分かります。カルトは様々形状で現れ、明白に見出す事が出来るのですが、現在の目的として、ウパサカ HL ウエイの “いかにして仏教徒のカルトを発見するか”⁴ の記事の抜萃に嶋野アーカイブの文書を照合して、カルト的兆候を考察して下さい。分かりやすいように、不慣れな用語には角括弧で短い説明を加えました。

¹ www.nytimes.com/2010/08/21/us/21beliefs.html

² www.sanghaconvergence.org/DATA/SNAP_Responds.pdf

³ www.shimanoarchive.com/PDFs/19820400R_Zen_Seduction.pdf

⁴ www.buddhistchannel.tv/index.php?id=70,4410,0,0,1,0

仏教徒カルトの兆候	嶋野アーカイブ文書	引用例
多くの場合“聖なる”という尊称を自ら就け、他の様々な敬称肩書きをはっきりした根拠なしを表す	ロバート エイトケンよりローズ マリーキーファーへの手紙 日付 11/20/84	“というわけで宋淵老師（彼の師 中川宋淵）より嶋野栄道へ与えられた嗣法もその撤回も非公式である”
	ジロー アンデイ アファブルよりZSS理事への手紙 日付 06/03/10	“この時点で公表されている文書によれば[……]南無大菩薩に描かれた嗣法の歴史は大きく変更されます。[……]伝法そのものにも問題が生じて来ます。”
	正式伝法系図 日付 9/20/10	“嶋野の名が見えない “えない “
カルトの弟子達は指導者に対して熱狂的態度を示し、指導者が間違いを犯すことはあり得ないと確信している	大菩薩禅堂30年記念案内状 日付 07/15/06	“老師[嶋野の尊称肩書き]、貴方は絶大な力で私達の人生を変え西洋の仏法を定着させました。貴方はこれを縁だと言われるかもしれませんが、僧伽[仏教徒の集まり]は、全て貴方のお陰だと信じています。”
	嶋野の5番目の嗣法、げんじょう マリナロよりアメリカン禅教師協会、プライベート リストサーブへの声明 日付 06/09/10	“栄道老師の行為は不法でさえありません。唯我々の規準で不条理というだけで、セックスのため無理強いした訳でもなく、賄賂を送ったのでも、強制したのでも、金を払ったのでもありません。お互い同意の上で、成人が自分の事は自分で承知しながら性交渉を持ったと言う事以外誰からも非難を受ける筋合いのものではありません。[……]ですから私は引き続き彼と交わり、彼は我が伝統の祖先として見聞きし、語り、行動し、私達の期待に応えています。”
	ZSS発表：心華-しつ露光シェリーシャイト老師は二世住持として就任した 日付 11/20/10	“心華老師は栄道老師の比類なく聡明な仏法の眼識が精神の絶対的光明をもたらした事を感謝すると表明しました。”
弟子達は常に権威又は異教徒的であるために嫉む人びとの見えざる手によって脅迫されているように思わされている	嶋野の五番目の嗣法、げんじょう マリナロよりアメリカン禅教師協会個人リストサーブへの声明 日付 06/09/10	“昔起った事に対する現在の論争は4人の男によって焚き付けられたもので、古い恨みを根に持って彼を打ちのめしてやろうという企みです。この4人は禅教師協会の会員ではないのですが、栄道老師が彼らを禅師として認めないために脱退を余儀なくされたもので、これによって師への誹りが始まったのです。”
他の仏教協会やセンターを訪問する事を希望した者は同門の人びとによって遠ざけられ背教者と見なされる	シラキユース禅センター元弟子の公開状 日付01/05/11	“心華老師は僧伽を去った者と共に我々の禅堂以外で坐禅をしてはいけないと僧伽の人びとに言いました。”
	“玄覚再び” ブログより、嶋野栄道に関して 2027ページ 日付 02/10/10	“私は彼[嶋野]と何回か私が耳にした事で交渉が続けた後去りました。—その内の最後の件は一人の学生が奨学資金申請に嘘を書き込むよう命じられた事でした。私は何か誤解があるものと推察し、朝の会議で発言したのですが、これは誤解ではなかったのです。 とうとうある日独参[個人面接]室で嶋野は真っ赤な顔をして恐ろしい怒りを発し、唾をとばしながら怒鳴りつけました。‘私に向かってそのような口をきくお前は誰だ！ お前は無価値者！ この禅堂を俺が建てたと言う事を忘れたか！’ 等等。私はこの男は気が狂っていると思いました。 その夜私は皆に自分はここを出て行く旨話し、二人程の人に君も出て行った方が良いと勧めました。翌朝、私は知らなかったのですが、彼は会議を開き人びとに私が彼を襲ったと話し、私とは口を聞かないようにと言い渡しました。”
財政利己的利用；カルトは通常、慈善や自分の殿堂建立に余念がない	ミセス チェスター F. カールソン（ゼロックス創始者の未亡人）よりジーン バンキエへの手紙 日付 02/08/84	“16万ドルの贈り物を老師に贈与する積りはもとよりありませんでした。[……] 栄道老師の霊的能力と言う唯一の理由で私はニューヨーク禅スタディ ソサイエティへの基金贈与を惜しみませんでした。彼の為でなかったら基金の興味はありませんでした。しかし今では当時と同じ確信はありません。このように至った原因は、多くの信頼出来る筋からの情報によるのですが、栄道老師の不行跡のため禅スタディ ソサイエティの精神性が失われたからです。”

	ZSSによる山門建立のための基金 \$100,000 懇願 日付06/10/10	“栄道老師の在米50年を記念して、彼の三宝に対する感謝の表明、山門（門とこれに属する建物）を大菩薩禅堂の入り口に建立します。費用の全額は\$100,000です。どうか栄道老師の歴史的企画に参加して下さい。”
カルト宗教は会員を統御するため個人又は集団に対して脅迫という手段を用いる。弱い個人や問題を持っている者はこのような扱いに対して影響を受けやすい	ノーニン チャワニー；禅フォーラム インターナショナルの発言 日付 05/22/10	“事態はあるがままです。もし誰かが、如何なる出来事があったにせよ[嶋野による陵辱]15年もの間、険しい思いに耐え、苦しみ耐え、その間謝罪もないならば、彼又は彼女はそれにも対処しなければなりません。禅の修行によって安息が得られない場合、カウンセラーやセラピストに依らねばなりません。精神的問題には専門医による治療が必要です。”
	フィル ベネズラの観点と注釈 日付 09/04/10	“ここで修行した一年半の間に、私は一人の弟子がナイフで腹を刺し自殺を計ろうとした試みを目撃しました。この若い退職軍人は禅堂[坐禅堂]で狂気に走り、奈落の底に落ち、やがて両親が来て彼を連れ去りました。もう一人の弟子、これは私自身なのですが、一時的に狂気に落ち、精神科医はこれを偏執性精神分裂症とでも呼ぶのですが、この同じ頃栄道老師は相変わらず女弟子にセックスを迫って[...]夢中で追いかけ回していました。狂気の行動をとった2~3の弟子と栄道老師の反モラル性（ある時彼はそう名付けた）と関係があるのでしょうか？”
そのような指導者は混乱した精神状態の人に対して自責の念を呼び起こし咎めだてる名人です	大菩薩禅堂30年記念パンフレット 日付 07/15/06	“老師は禅スタディ ソサイエティの早期頃を説明し、正法寺[ZSSの市内センター]建立よりも大分前、彼は空腹で（ニューヨークへ着いた当初金は無く正式な禅堂も無かった）水を飲み、街を歩き回ったと言いました。”
	クリストファー ハマカーよりZSS理事会への手紙 日付 09/04/10	“しかしその後で立ち上がり彼を[嶋野]振り返ってみた時私は驚きました。彼の表情には何か素晴らしい贈り物を与え、その反響を期待しているような不思議な笑みを含んで、見開かれた目が実に輝いていたのです。ほんの一瞬でしたが、それでも理由を説明出来ないひと時でした。何が今起ったか（起らなかったか）理解出来ない、しかし私の反応を待ち望む顔でした。”

二三付け加えさせて頂ければ、ここに上げた我々を狼狽させる嶋野賛同者達の評言は、現在ZSSに席を置いている理事会員によるものなのです。彼らは現在内部で様々な反嶋野の動きを拒否する力を持つ人びとなのです。実にアーカイブの綿密な調査の結果明らかなように、嶋野自身何十年にも渡り、理事会の会員の一人であったのみならず、この会員達は皆、嶋野によって選出された腹心の弟子達であり、又彼自身の妻を 会計係とZSSの会長に置いていたのです。その結果、嘆かわしい事には、この組織の矛盾こそが容易に彼の長年の悪行を包み隠す事をなし得た原因であり、引き続き改善、救済の裏をかくことになったのです。

結論として、上記に選んで取り上げた件は何百もの嶋野アーカイブ文書のうちのほんの一部である事をくり返します。貴方がこの事件に関して調査を進めて行く上で必要な証拠文書はここに十分に納められているであろうと私は信じます。もし貴方がこの事件を調査、分析、さらに把握してその上でいかように対処すべきかという提案を私どもに頂ければ有り難く思います。この文書を貴方の及ぶ限り、あらゆる経路を使って広く公表して下さい。今日の段階で、嶋野氏は正式にZSSにおいて多分俸給さえ取って、彼の危険性に関するいかなる効果的な処置も取られることなく彼は安泰です。と言う訳で、悪弊の循環、継続は現実的です。

最後に、嶋野とZSSに対して少なくとも2件の告訴が用意されていると言う事に留意して下さい。幾人かの元ZSS居住者／嶋野の犠牲者は、彼らの経験を直接貴方に提供すると申しています。私も喜んで適切な情報を紹介し、又は貴方の希望する他の項目についても提供します。

この件について検討して頂いた事を感謝します。

敬具

署名

クリストファー ハマカー

-禅道場-

クリストファー ハマカー
エルサセスター、25 RGB
81667 ムンチェン

CC :

フェイストラスト インステイテユート

気付 : ミス マリー フォーチュン

2400北45通り 101室

シアトル、ワシントン

98103 U.S.A.

サヴァイヴァーズネットワーク オブ ゴーズ アビューズド バイ プリースト

気付 : ミス バーバラ ブレイン

P0 ボックス6410

シカゴ、イリノイ

60680-6410 U.S.A.

JBFCs カルト ホットライン アンド クリニック

135 西50通り、6階

ニューヨーク、ニューヨーク

10020 U.S.A.

リック A. ロス インステイテユート

1977 北オルデン通り、イクステンション#272

テントン、ニュージャージー

08618 U.S.A.

インフォ - セクト

5655アヴェニュー ド パルク、208室

モントリオール、ケベック

H2V 4H2 カナダ